

2015年2月20日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

## 「たち吉」への投資について

投資ファンド運営のニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長兼社長 安東泰志、以下「NHC」）は株式会社たち吉（本社 京都府京都市、代表取締役社長 岡田高幸）の再生並びに成長支援を目的とした投資を行なう予定で、現在各方面との最終調整を行なっております。本件投資は、正式決定後にニューホライズン 2号投資事業有限責任組合（NH-2）から実行される予定です。

たち吉は日本の陶磁器の伝統文化を約 260 余年に亘り一貫して守り続けてきました。日本人の生活の豊かさを提供してきた「たち吉ブランド」ですが、消費者の嗜好の変化と資金力の不足によって、陶磁器の売り場面積の縮小を余儀なくされ、加えて安価な海外製品との競合といった内外の環境の変化に対抗する手立ての遅れから 2012 年以降の消費需要回復にも関わらず、収益の悪化が続いてきました。

NHC は、本件が正式に決定された後は、全社員とお客様が共有できる「たち吉ブランド」の世界観を再構築し、それに基づき、①人心の一新、②不採算部門の見直し、③商品政策の再構築等を図る予定です。また、ネット販売戦略を見直すほか、海外においても、日本の伝統文化に対する高い関心を生かし、事業拡大を積極的に推進する予定です。

なお、今回の支援に際しては、仕入れ先、お得意先にご負担が生じることはなく、むしろ、たち吉の財務状況が大幅に改善することなどを通して、すべてのおお客様のご期待に一層添えるものになると考えております。

以上

ニューホライズン キャピタル株式会社

産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系企業再生（PE）ファンド。02年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から06年10月の会社分割を経て通算13年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,500億円超）を背景に、NHCとして2本目、創業から8本目のファンドを運営しています。02年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチ

ームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐなど、開示可能なエクイティー投資先だけで30社、全体では90社以上という日本随一の企業再生・再編投資実績を有しています。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当（IFC） 竹江

電話 03-5532-8921